

2018年7月11日発行

けんいちだより



発行責任者：さいたま市議会議員 さいとう健一（公明党さいたま市見沼区） 住所：さいたま市見沼区深作 3-22-7

6月定例会 活動報告

さいたま市議会6月定例会が6月6日から6月29日まで24日間の会期で開催しました。

今定例会では、市長提出議案が25件、議員提出議案が4件、請願書が23件を審議いたしました。

議案内容と審議結果につきましては、さいたま市議会ホームページの「トップページ」>「議会資料検索(今日の会議)」>「システムURL」<https://www.powerfinder-asp.net/saitama/>→「文書一覧」>「本会議」>「平成30年」>「6月定例会」>「審議結果」にてご確認いただけます。

さいとう健一は、6月13日の本会議において、一般質問に立ち「子どもの学習支援について」「がん検診の促進について」「見沼区のまちづくりについて」3項目に亘り、質問をいたしました。



定例会で一般質問を行う さいとう健一

以下の内容について一般質問しました

一般質問およびその答弁要旨

01 子どもの学習支援について

① 外国籍児童生徒の学習支援について **－学習能力を平等に身につけるために！－**
年々増加している外国籍児童生徒をさいたま市民として受け入れた以上、通常学級の授業について来られるように、常勤の日本語指導員の拡充を積極的に図っていくことを訴えました。

<答弁要旨>

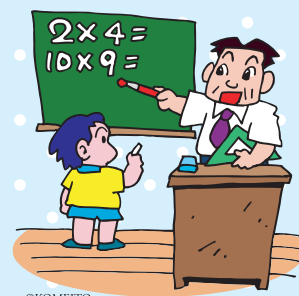
常勤の日本語指導員につきましては、日本語指導はもとより、学校生活全般、学校行事等を通し、児童生徒を専門的な視点から観察し、強化指導に当たることが可能となります。加配教員を活用しながら、常勤の日本語担当教員を確保するなど児童生徒一人一人に寄り添う形で学習支援を行っていただけるよう努めて参ります。

② 低所得世帯の子どもの学習支援について **－貧困の連鎖を断ち切るために！－**

親の経済的貧困は、子どもから学習の機会を奪い、教育機会に恵まれなかったことで低学力、低学歴になってしまった子どもは、社会人になったときに所得の低い職業につかざるを得なくなります。更にその下の世代にも貧困が連鎖してしまうことです。この貧困の連鎖を断ち切るために、さいたま市では学習支援教室を行っていますが、参加率が32.6%と低いため、参加できない子供のために、eラーニングや通信教育の導入を提案しました。

<答弁要旨>

eラーニングや通信教育を活用しての学習支援につきましては、ひきこもり等の理由により学習支援教室に参加することができない子どもに対する取り組みとして有効であると認識しております。子どもに対する学習支援、経済的格差による世代間の貧困の連鎖を断ち切って、将来に向けて夢と希望を与える施策としても重要であると考えますので、諸課題について整理をしながら、この導入の可能性について検討して参ります。



©KOMETO

02 がん検診の促進について

① がんの早期発見にむけて - 健康長寿のために! -

さいたま市の直近4年間の大腸がん検診の受診率は約30%の横ばいで、7割の方が受診していません。大腸がん検診は検診機関に出向かなくても検体のみでできる検診であり、受診していない方へ検査キットを送付して受診勧奨を行い、早期発見の受診率向上を図ることを提案しました。

<答弁要旨>

大腸がん検診の検査キットを送付し受診勧奨を行うことは、受診率向上対策の一つの手段として考えられています。健康寿命の延伸に向け一人でも多くの市民にがん検診を受診していただくために、今後も引き続き様々な方策を検討し、受診率の向上を図って参ります。



03 見沼区のまちづくりについて

① 通学路における危険箇所の解消要望について - 安心安全な通学路のために! -

教育委員会は危険な通学路の解消要望を提出された学校関係者に、対応のスピードアップと、すぐに解消できない場合は丁寧な説明を行う事こと。そして今まで以上に道路管理者と実効性のある連携強化を図っていくことを訴えました。

<答弁要旨>

危険な通学路の対応が非常に難しい整備要望につきましては、児童生徒の安全が何よりも大切でありますので、通学路の変更等も含め学校と協議を行い、今後も関係所管と連携を強化して、通学路の安全対策を進めることで、登下校時における児童生徒の安全確保に努めて参ります。



② 交通空白地区の移動支援について - 誰もがすみやすい見沼区のために! -

交通空白地区で道路整備がされた場合、その地域からバス事業者に路線バスの要望書が提出され、その実現に向けての支援について。また要望が叶わない場合のコミュニティバス・乗り合いタクシーの導入支援について質問をしました。

<答弁要旨>

路線バスについては、交通空白地区の解消に向けてバス事業者と協議を継続して参ります。また地域の要望でコミュニティバス・乗り合いタクシーの乗り入れを希望された場合は、コミュニティバス等導入ガイドラインに基づきまして、地域のニーズを確認しながら、市は技術的な支援を行って参ります。

七里駅のデザインアンケートを実施しています!

新しい街の顔にふさわしい七里駅のデザインを検討するにあたり、市民や駅利用者の皆様のご意見を伺うため、アンケートを行っています。



ガラスやタイル、石などの素材を組み合わせ、地域の街並みに配慮したデザイン。



素焼きのブロックや土塗仕上げを組み合わせ、地域の豊かな自然環境をイメージしたデザイン。



金属や木材、タイルなどの素材を組み合わせ、街の新たなシンボル性を高めるデザイン。

実施期間：平成30年7月11日(水)～7月25日(水)

実施場所：七里駅(駅の営業時間) / 見沼区役所 / 春岡支所 / 七里支所(開庁日の午前8時30分～午後5時15分)

方法：専用のアンケート用紙にご記入後、回収箱に入れてください。

※お一人様1枚とし、専用のアンケート用紙以外へのご記入や、複数案を選んだ場合は無効です。

アンケート結果：9月上旬にさいたま市のホームページに掲載する予定です。

お問い合わせ：さいたま市都市局まちづくり推進部区画整理支援課 支援係

TEL: 048-815-8726 FAX: 048-832-6667 E-mail: kukakuseiri-shien@city.saitama.lg.jp

